

日教弘教育賞募集要項

日教弘教育賞は、教育関係者が使命感をもって、日々行っている教育実践の優れた結果の報告の場として、日教弘教育賞実践論文の募集を行う事業です。平成30年度は下記要項のとおり実施します。

1. 主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会

2. 後援 文部科学省

3. 助成要件

(1) 助成の趣旨

学校教育の向上発展に寄与する優れた教育実践研究論文を対象とします。

(2) 助成の対象にならないもの

- ① 公的機関、研究会、市販の図書・教育誌等に既に発表した内容のもの。
- ② 他団体に応募（推薦含む）ずみの内容のもの。
- ③ 日教弘教育賞応募後、選考中に発表したもの及び他団体に応募（推薦含む）した内容のもの。

※ 内容が類似したものであれば、論文の様式でないもの（申請書・レポート等）であっても応募ずみとみなします。

※ 過去に類似した内容で発表または他団体に応募ずみのものは、下記の条件を満たすもののみ対象とします。

i 新たな内容に主軸を置いているもの（内容に差異がないもの、前段である研究・活動に紙幅を割いて新たな内容を数行追加しただけのもの等は対象外とします）

ii 過去に応募した書類を提出できるもの（選考委員会で使用します）

※ 日教弘教育賞応募後、推薦を受けて他団体に応募した場合も対象外となります。すみやかに支部あてにご連絡ください。

④ 過去5年以内（平成25年度～平成29年度）の受賞校、受賞者。（学校部門・個人部門を問わず応募できません）

(3) 募集対象

論文は①学校部門(団体を含む)、②個人部門(研究グループを含む)の2部門とします。

- ① 学校部門 国・公・私立の幼・小・中・高・特別支援・高専等の各学校及び教育機関等並びにそこに勤務する教育関係者で組織する教育研究団体
- ② 個人部門 上記の学校や教育機関等に勤務する教育関係者個人及びそれらの人々で組織する研究グループ等

[教育関係者とは各都道府県市(特別区を含む)町村等に設置された国・公・私立の学校、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者]

- ※ 学校部門は校長が応募者となります。
- ※ 他の教育機関等から学校部門として応募する場合は、機関の所属長が応募者となります。以下、「校長」を「機関の所属長」と読み換えてください。
- ※ 応募の際、住所・氏名・生年月日・性別・電話番号等をお聞きします。詳細は別紙「応募者調査書」をご参照ください。
- ※ お聞きした個人情報、本事業に関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。

- (4) 募集期間 平成30年4月2日(月)～平成30年11月2日(金)
 - ※ 上記期間は支部が本部へ応募する期間です。募集期間は支部によって異なりますので、詳細は最寄りの各都道府県支部までお問い合わせください。

- (5) スケジュール
 - 平成30年11月下旬 内部選考を行います。
 - 12月下旬 一次選考を行います。
 - 平成31年1月中旬 二次選考を行います。
 - 2月下旬 受賞結果を通知します。
 - 3月中旬 第7回日教弘教育振興事業助成金贈呈式を開催します。

- (6) 応募方法
 - ① 研究主題
 - 論文の主題は、「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」という立場から応募者が具体的な研究主題を決めて論文をまとめることとします。

- ② 用紙及び論文量

論文の作成は原則としてワード等を使用してください。

指定の原稿用紙はありませんので、下記のとおり設定の上論文等を提出してください。(ア・イともに必須。)

なお、電子データ (CD-ROM 等各支部の指示するもの) を併せて提出してください。(ア・イはそれぞれ別のファイルで作成してください)

ア 要旨

* 様式

48 字×43 行×1 段組×A 4 判 1 ページ横書き
(フォントサイズ 10.5)

* 記載項目

- ・ 応募者 (学校部門は校長) の所属学校、役職、氏名
- ・ 研究主題
- ・ 研究副題
- ・ 研究の要旨 (論文の内容をまとめたもの)

イ 論文

* 様式

24 字×43 行×2 段組×A 4 判 4 ページ横書き
(フォントサイズ 10.5)

《応募者記載欄》

- ・ 1 ページ目 1～6 行目 (段組み左右・2 段分) に記入
 - ※ 1 ページ目の行数が様式に沿う (43 行) 場合のみ、フォントサイズの変更可能 (フォントサイズ 10.5～12 程度)
- ・ 記載事項は研究主題、副題、応募者の所属学校、役職、氏名とする。
 - ※ 学校名は都道府県・市区町村 (町立・村立の場合は郡も) を含め、正しく記載してください。
 - ※ 学校部門の応募者は校長に限ります。
 - ※ グループの応募者はグループの代表者に限り、所属学校をグループ名に換えて応募することも可能です。

《本文》

- ・ 2 段組で記入する
- ・ 1 ページ目 7 行目 (左段) ～4 ページ目 43 行目 (右段) の中に本文及び図表・写真等の資料を収める

※ フォントの大きさを上記以外にすると、設定が正しくても、字数・行数が様式と異なって表示されることがあります（特に応募者記載欄）。

印字した際の字数・行数の様式が正しい場合に限り、フォントの大きさが上記と異なっても不問といたします。

※ 上記と異なる様式・不備がある状態で応募した場合、選考の対象外となることがあります。ホームページで様式を確認してください。

※ 要旨及び論文に記載する氏名・所属学校・役職・研究主題等は、不一致がないようにしてください。

③ 論文の書き方

ア 論文は横書きとします。

イ 文字は常用漢字、現代かなづかいを使用してください。

※ 学校部門は校長が応募者となりますが、他に校長以外の担当者（執筆責任者・執筆担当者等）がいる場合は、論文の文末に記載することができます。（例 執筆責任者 教諭 ○○ ○○）

④ 小見出しや文章の書き出しの前は、ひとマスあけてください。

（レイアウト等については日教弘ホームページ(www.nikkyoko.or.jp)の例を参考にしてください。)

⑤ 図表・写真等の資料の留意事項

掲載する図表・写真等の資料は、「教育研究集録」作成時に見にくくならないように配慮してください。

A4判1ページ程度以内の分量に収め、本文の中に貼り付けまたはデジカメ等で取り込んだものにしてください。

⑥ 論文応募方法

各都道府県支部にお問い合わせください。

なお、応募の際は別紙「応募者調査書」の提出が必要となります。（各都道府県支部に応募された論文のうち、最大3編が当教育賞に推薦されます。）

※ 応募要件を満たしていない場合、受賞の対象外となります。(受賞後に発覚した場合も賞の取消及び賞金の返金を求めることがあります)

4. 表彰及び賞金額

(1) 日教弘教育賞・最優秀賞 2 篇

学校・研究団体(50 万円)または個人・研究グループ (30 万円)

(2) 日教弘教育賞・優秀賞 6 篇

学校・研究団体(40 万円)または個人・研究グループ(20 万円)

(3) 日教弘教育賞・優良賞 8 篇

学校・研究団体(30 万円)または個人・研究グループ(15 万円)

(4) 日教弘教育賞・奨励賞(上記外論文)

学校・研究団体(10 万円)または個人・研究グループ(10 万円)

※ 平成 31 年度募集分より、日教弘教育賞・奨励賞における個人・研究グループの論文は、賞金が 5 万円に変更となります。

※ 最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当数は、選考結果により変わることがあります。

※ 最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当者については、表彰式を行い贈呈します。

なお、表彰式に出席しない奨励賞該当者については、各都道府県支部から贈呈します。

詳しい日程等については、該当者に別途案内します。

※ 日教弘教育賞研究集録を刊行し、教育の振興に役立てます。最優秀賞・優秀賞・優良賞の該当論文については全文を掲載するので、**誤字・脱字等がないよう注意してください。(応募後は修正することができません。)** 奨励賞該当論文については「論文の研究主題・応募者の氏名・勤務校」を掲載するとともに、希望者に論文を公開します。また、ホームページにも掲載します。

※ 応募された原稿の著作権は当会に所属します。

※ 他の論文等にある図表、写真や長い文章を引用する際には、著作権所有者・団体の引用許可を応募者が取ってください。

※ 児童・生徒・保護者等の写真を論文に掲載する場合は、必ず事前に許可を取ってください。

※ 応募者の連絡先については、「応募者調査書」に記載していただきます。要旨及び論文に電話番号・住所等の記載は不要です。

5. 選考方法

- (1) 教育振興事業選考委員会で選考後、理事会の議を経て理事長が表彰対象者を決定します。
- (2) 採否は各都道府県支部をとおして連絡します。なお、受賞の理由等、選考に関わる問い合わせには回答しません。